

	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
1	1番 地花義照 議員	一般行政	高齢者の支援策について	村長

○1点目

高齢化を抑えるための施策についてであります。高齢化率が県内で過去最高という結果を受けて、村としてどのように高齢化を抑えていく施策があるのかお伺いする。

○2点目

高額な保険料で生活困窮を強いられている高齢者に対する支援についてであります。介護保険料や後期高齢者医療保険料が高額になり、年金が低額な高齢者は生活が困窮している世帯もあると聞かすが、村として支援していく考えがあるのかお伺いする。

○3点目

出生率向上及び若者の村外流出等に対する施策についてであります。高齢化率が上昇しているのは、出生率の低下や若者の村外流出等が原因の一つとして考えられるが、村としてどのような対策を考えているのかお伺いする。



一般質問に臨む地花義照議員



《東通中学校2年生が議会（一般質問）を見学》

11月に中学生議会を開催するにあたり、東通中学校を代表して、2年生10名が議会の一般質問を見学しました。緊張しながらも真剣な表情で一般質問と答弁に耳を傾けていました。

東通村の将来を担う子どもたちに、村政に関心を持ってもらい、自分の夢、希望を織り交ぜながら、村政に対する要望や質問を発表していただき、中学生の視点からの意見を、今後の村政運営に反映させていくことを目的として開催されます。





再質問する地花義照議員



一般質問に答弁する畑中村長

### 【畑中村長 答弁】

地花義照議員のご質問にお答えします。

まず、1点目の「高齢化を抑えるための施策について」であります。青森県国民健康保険団体連合会が7月5日に発表した65歳以上の人口割合、いわゆる高齢化率について、青森県全体では過去最高の33.42%となり、東通村は36.60%で県内40市町村中、24位となっております。

1位は今別町の54.94%、下北郡内を見ますと佐井村が46.17%で5位、風間浦村が45.39%で6位、大間町が34.38%で27位、むつ市が33.69%で31位むつ下北地域全市町村が県平均を上回る高齢化率となっております。

ただし、高齢化率が高いことは、平均寿命が延びているということでもありますので、その点をご理解いただきますようお願いいたします。

施策としては、「第2期東通村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進を図るため、「住んでいたい、住んでみたくなる魅力ある東通村の住環境」、「足腰の強い力ある産業」、「結婚・子育て・老後まで安心して生活できる東通村の豊かな暮らし」の3つの創生事業を推進し、人口減少を食い止め、人口増加につながる施策を展開しておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

次に、第2点目の「高額な保険料で生活困窮を強いられている高齢者に対する支援について」であります。まず、介護保険料及び後期高齢者医療保険料の決定にあたっては、本人の所得や世帯の所得状況に応じて決定されることとなっており、また、所得が低い方については所得の段階に応じて保険料が軽減されることとなっております。

両保険制度とも、所得区分に応じ、保険料をご負担いただく制度となっており、低所得者については、保険料が軽減され、制度上は生活が困窮するほどのご負担を強いている状況にないものと認識しております。

また、各世帯における家計の総支出額に占める保険料の負担割合は世帯ごとで大きく異なり、保険料納付の家計圧迫度は各世帯の生活水準にも大きく左右されるものであるとも認識しております。

いずれにせよ、両保険料制度は所得区分に応じて保険料をご負担いただく制度であり、また、所得区分に応じて保険料負担の軽減制度が設けられているため、直接的な支援は考えておりませんので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

次に3点目の、「出生率向上及び若者の村外流出等に対する施策」についてであります。まずは、青森県全体で、合計特殊出生率が全国36位、出生率は45位、死亡率2位と、少子化・人口減少に歯止めがかからない状況が続いております。

そうした中、村では出生率向上のため、乳幼児・子ども・ひとり親医療費の給付事業、出生から1歳まで月1万円を支給する乳児子育て支援助成金、妊産婦検診の無料化、ハイリスク妊婦アクセス費用助成金、成年風疹予防接種、インフルエンザ予防接種の無料化、本年度新たに出産費用助成金、新生児聴覚検査助成金等、妊娠期から出産・育児まで様々な助成事業や負担軽減事業を展開しておりますが、近年の年間出生数は30人から40人程度で推移しております。

これは、全国的に晩婚化が進展し、出生数が減少している中で、若い年代が少ない当村にとっても例外ではないものと受け止めております。むしろ、小学校、中学校のクラス編成に必要な人数を確保しておくことが一応の指標となることから、引き続き、産み育てる環境の充実を継続して参る所存であります。

最後に、「若い世代の村外流出に対する施策」については、高校卒業後の進路についてはむつ市の明の星短期大学キャンパスや青森大学キャンパスに期待するとともに、卒業後の働く場の確保については、これまでの施策に加えて新たな取り組みも必要であると考えております。

具体的な施策としては、地域指定に基づく新規参入企業の減税や減免を図るほか、移住・定住策として若者を村内に呼び込む施策に着手しておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。地花議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

### 【地花義照議員の再質問】

この問題については、1年、2年で解決するようなものではありませんけれども、第2点目について再質問したいと思います。

高齢者は65歳以上と言われますけれども、70歳から80歳代の高齢者は国民年金事業が始まって、60歳からほぼ9割方以上が受給しております。それについては、本来であれば月額6万5千円前後なんですけど、4万円前後で生活しております。夫婦だと8万円となります。ところが、片方が亡くなりますと、遺族年金というのが発生しないため、4万円から3万5千円前後で全部生活しております。その後、後期高齢者、介護保険制度が始まります。ですので、いくら生活に影響のないように所得の制限をかけたとしても、月に何千円かが、それから引かれる訳です。年金から引き落としになっております。以前は、核家族でなく、世帯全体で保険料等を賄っていた訳ですけど、今は核家族になり、高齢者自身で賄わなければならない時代になってきております。それが早くから行われているのであれば、その対策も高齢者自身がしたんでしょうが、先ほど申しましたとおり、最近この制度ができた訳ですので、やはり今の高齢者は大変な生活だと、私は思います。東通は決して安いとは言えない金額なので、村として施策を考えてもらいたいと思います。

	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁者
2	2番 田村智和 議員	一般行政	東通村の未来を創る 人材育成について	村 長

**【田村智和議員の一般質問】**

村長が進める「未来へ挑戦する東通村へ」のスローガンのもと、6つの柱の一つとして『未来をつくる「ひとづくり」の推進へ向けて、人口減少問題に一手をうつべく、東通村の未来を創る人材を育成します。』とあります。

村として、今後どのような人材を育成し、具体的にどのような施策を実施していくお考えがあるのかお伺いする。

**【畑中村長 答弁】**

田村議員のご質問にお答えします。

東通村に暮らす人々の安心・安全な生活、生業を守る村づくり、そして何より、村民から信頼される村を築くためには、村民に寄り添い、村民の声に耳を傾け、村民による、村民のための村でなければならない。

また、子供からお年寄りまで、健常者も障がい者も、みんなが参加して、多様性のある村づくりをするために、人々の暮らしに密着した政策を主体的に実践する。

この思いは、令和3年4月東通村議会第2回臨時会で私の所信の一端として、申し述べたとおりであります。

議員ご質問の、「未来をつくるひとづくりの推進」は、人口減少問題に一手を打つべく、東通村の未来を創る人材を育成するとして、次の施策を実践していくものであります。

まず、小中学生、高校生など地域の若者たちが村の歴史・文化・伝統芸能などを学校だけではなく、地域で学べる環境の整備を進めることにより、「東通学」の充実を図る。

次に、地域共生社会の実現を目指し、保健・福祉・医療・教育等、幅広く生涯学習できる環境を整備するため、「東通カレッジ」を開講する。

次に、青森県内の高等教育機関や村内の民間企業、近隣市町村と連携し、若者の人材育成に向けた、「新たな東通スタイルの教育」を推進する。

そして、こ・小・中一貫教育を推進し、一人ひとりに寄り添った教育を実践することにより、地域への愛着心、郷土愛を育みつつ、グローバル社会にも適応できる人材の育成に努める。

この中で、「東通学」の充実は、私が最も重視している施策であります。

地域の教育力で、子供たちを育て、様々な人材を世に送り出すことが私たちに課せられた使命だと考えております。

こども園ひがしどおりでは、サクラマス稚魚の放流やブルーベリー狩りなど、東通村の産業体験を主体に東通学を学んでいます。

小学校入学から中学校卒業までは、生活科の時間や総合的な学習の時間を活用し、「東通学」を学んでいます。

これまでは、小学1年、小学2年は「地域の人、もの、こと」についての学習、小学3年は東通村の名所に関わる学習、小学4年は東通村の食文化に関する学習、小学5年は地域の産業に関わる学習として東京都北区浮間小学校との交流、そして小学6年は東通村の観光や伝統芸能、食と産業を修学旅行を通じ、ピーアールする活動を基本として、それぞれ取り組んでおります。

中学校は、学年ごとにテーマを掲げ、小学校で学んだことを深く掘り下げて学んでおります。中学1年は「郷土を見つめよう」、ふるさとの姿からわかることをテーマに、地域の自然環境や特性を生かして働く人々や組織についての学習、中学2年は「視野を広げよう」、視点を変えて見えてくるものをテーマに、働くことの意味や働く人々の夢や願いについての学習、具体的には八戸市での職場体験、中学3年は「未来を語ろう」、今の私たちにできることをテーマに、地域活性化のために取り組んでいる人々や組織についての学習、具体的には東京都赤羽駅などで特産品の販売や東通村のピーアールに取り組み、9年間の「東通学」、そして「東通科」の学びを総括しております。

このように、東通村の教育の特色であります、東通科の学びの中で子供たちが生まれ育った東通村を知り、その学びを発信することで視野を広げ、グローバルな人材の育成につながっています。

様々な職業体験をすることにより、どのような職業が自分に向いているのかを知り、どのような社会貢献ができるのかを学びながら、自分の将来の道を選択し、進む道を探るための素地を身に付けてきております。

また昨年、高校生が若い発想で村の活性化に取り組み、青森県主催の「ふるさとあおもり景観賞」の、「地域づくり活動部門特別賞」を受賞しております。

これは、空き家を改修し、若者と高齢者、地域を結びつける活動とその将来性が高く評価されたものであります。

更に、村出身の大学生や県内の大学に在籍する生徒がインターンシップ制度で来村し、移住定住の促進や小中学生及び地域の方々と交流しておりますし、本日午後からは中学校で今春大学に進学した学生が、自分の専攻している防災教育を後輩に講義する機会を設ける等、村としても学生たちとともに、村の抱える課題解決に向け取り組んで参ります。

そして本日は、東通中学校2年生の生徒10名が傍聴に来ております。

皆さんは、年内に開催予定の仮称「子ども議会」に向けて学習に来られており、私としては、中学生の考え方や意見を参考に、地域づくりに取り組んで参る考えであります。

これからの村は、自分たちが創るという考えを子供たちが持つことが、村の将来にとって、非常に有意義なことと考えております。

また、高校再編に象徴されるように、大人の考え方だけではなく、子供たちの意見を聞きそれを尊重して結論を導き出すべきことも、時には必要と認識しております。

人材育成は、特定の職業に就くことを目的とするのではなく、子供たちが夢を抱き、育み、それを叶えるため、我々大人が地域全体で子供たちを全力で支えることであり、校歌や校訓には子供たちの成長を願う東通村民の思いが込められております。

ひとつづくりは、一朝一夕で出来るものではありません。種を蒔き、芽が生え、花が咲き、実を結ぶ。そして実がまた種となる。

このように、ひとつづくりを持続可能とすることが我々の責務であります。

「東通村の将来を子供たちと共に考える」。このように考え、ひとつひとつの施策を着実に推進して参りますので、ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げ、田村議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

#### 【田村智和議員の再質問】

村長の掲げる東通村の未来をつくる人材育成の公約が実現したならば、必ずや村の発展につながると思います。

しかし、今、村長の答弁の中で一朝一夕にいかない、様々な角度から人づくりというものを進めなければならない。そのことは、私も理解しています。ただ、村長が確実な公約として掲げておられる訳ですから、村長として、この公約を、どのくらいの目途で進め、我々が進んできたなど、肌で感じられる時期がいつ頃になるのか、お知らせいただきたい。



一般質問する田村智和議員

#### 【再質問に対する畑中村長の答弁】

時期とかというのは非常に難しい質問でございまして、私がここで時期を明言することによって、皆様にご迷惑をかけることも十分考えられますので、その都度、私の考え、思いは議員の皆様、住民の皆様々に伝えていきたいと考えておりますので、この場で具体的な時期とかに関しましては、ご回答を差し控えさせていただきますと思います。

#### 【村長の答弁に対して田村智和議員の再々質問】

村長、公約は村民の期待であり、明るい未来のためにあると私は考えます。  
村民のためになることは、私も進んで協力していきたいと思っています。  
何卒、村民一人ひとりの発展のため、力を尽くしていただきたい。

#### 【畑中村長の答弁】

就任4ヵ月少々でございますが、各集落を回らせていただきまして円卓会議を開催しております。そこで頂戴した意見というのは、非常に貴重でございまして、そういう意見を聞きながら皆様と距離を縮めつつ、公約の実現に向けて頑張る所存でございますので、よろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症は全国的に減少しておりますが、空気が乾燥するこれからの時期は感染リスクが高くなります。引き続き、基本的な感染予防対策を心掛けましょう。